

乳房文化研究会の歩み

誰もが「胸」をはって生きられる時代へ。
私たちの研究会は、乳房を手がかりに
「からだ」と「こころ」、
そして社会の課題を考えます。

**Breast
Researchers'
Association**



誰もが「胸」をはって生きられる時代へ。
私たちの研究会は、乳房を手がかりに
「からだ」と「こころ」、
そして社会の課題を考えます。

Breast Researchers' Association

乳房文化研究会とは

「乳房文化研究会」は、1991年に活動を始めた「からだ文化研究会」と、同会の中で、「乳房」にテーマを絞って1993年に発足した「乳房科学研究会」とを発展的に統合して、1996年から活動を始めた研究会です。

前身となった2つの研究会は、女性のからだと乳房をそれぞれの視点からとらえ、女性の「からだ」と「こころ」をとりまく諸問題について研究活動を展開していました。

医学的にみても、すべての領域が関わりをもっているといっても過言ではない乳房を中心に、医学的・生物学的アプローチにとどまらず、「からだ」と「こころ」をとりまく社会や文化の問題など、社会科学領域、人文科学領域まで、広く学際的に科学することを目的に、「乳房文化研究会」は設立されました。

研究会では、乳房を手がかりに「からだ」と「こころ」、そして社会の課題を考えます。医学、生物学、文化人類学、心理学、社会学、被服造形学、芸術など、さまざまな分野で活躍する専門家が集まり、専門分野からの提案や境界領域の問題についての情報交換をおこない、さらに各方面からの話題提供を受けながら、より広くより深く活発な議論を展開しています。

The 'Breast Researchers Association' was founded in 1996 when two associations, 'Body Culture Association', established in 1991, and the 'Breast Science Association', established in 1993, were merged into one association. The two associations' research focused mainly on women's bodies and breasts from different perspectives and worked on various issues which surround human physical and mental wellbeing.

The Breast Researchers Association covers a diverse range of multicultural topics relating to 'bodies' and 'minds', including the physical changes to body such as puberty, pregnancy, childbirth, and menopause. These issues are not restricted to one sex, but need to broaden to gender-free standpoints nowadays. The members of Breast Researchers Association are composed of many different fields such as medical science, biology, cultural-anthropological science and psychological fields. In addition, the Breast Researchers Association has expertise for clothing design and art. We encourage interdisciplinary collaboration between different fields to exchange information and discussions, through broadening and deepening the mutual understanding within their respective fields.

略年譜

- 1991年12月 「からだ文化研究会」設立
講演録を発行（以後、継続して発行）
- 1993年10月 「乳房科学研究会」設立
- 1996年4月 「からだ文化研究会」と「乳房科学研究会」
を統合し、「乳房文化研究会」発足
- 2001年6月 「OPPAI ART LAB.nr事情展」を
ワコール本社ビル（京都）にて開催
- 2006年10月 「表象乳房コラボレートOPPAI」を
スパイラルホール（東京）にて開催
- 2013年7月 「OPPAI ART LAB.nr事情展2013in禅居庵」を
臨濟宗建仁寺塔頭 禅居庵（京都）にて開催
- 2014年12月 『乳房の文化論』出版
- 2017年6月 『乳房の科学』出版
- 2023年7月 一般社団法人「乳房科学研究所」設立

ウェブ
サイト

<http://www.wacoal.jp/c/nyubou-bunka/index.html>



主な
活動

- 【定例活動】
・年3回の研究会と講演録のアーカイブ
- 【非定例活動】
・10周年、15周年、20周年の記念イベント
・書籍出版の編集協力
①『乳房の文化論』淡交社、2014年発行
②『乳房の科学』朝倉書店、2017年発行

会員

医学、生物学、文化人類学、心理学、社会学、被服造形学、芸術など、専門家から学生の方まで、さまざまな分野の方が会員として登録されています。

役員

【会員数】（2025年1月現在）
個人会員 52名（特別会員・特別参与含む）
団体会員 8団体

（2025年1月現在）

- ・名誉会長 田代 眞一 病態科学研究所 所長／京都市立医科大学 客員教授
- ・会長 河田 光博 京都市立医科大学 名誉教授／京都岡本記念病院 教育担当顧問
- ・運営委員 赤澤 礼子 株式会社島津製作所 基盤技術研究所
みらい戦略推進室 企画グループ 副グループ長
- 岩崎 敦子 映像ディレクター/ジャーナリスト
- 上田 修三 京都光華女子大学キャリア形成学部キャリア形成学科 教授
- 岡 美奈子 公益財団法人 天理よろづ相談所病院 医療事務
- 小澤 一史 佛教大学 保健医療技術学部 理学療法学科 教授
- 岸本 泰蔵 株式会社 ワコール人間科学研究開発センター
- 北山 晴一 立教大学 名誉教授
- 菅森 朝子 立教大学 社会学部 助教
- 濱田 麻矢 神戸大学大学院 人文学研究科 教授
- 廣瀬 潤子 京都女子大学 家政学部 食物栄養学科 教授
- 山口 久美子 東京医科歯科大学 統合教育機構 准教授
- 米澤 泉 甲南女子大学 人間科学部 文化社会学科 教授（事務局長）
- 米本 昌史 京都精華大学 デザイン学部 教授
- ・監事 市邊 昌史 国際アロマセラピー科学研究所(ISA) 代表理事
- ・特別参与 山極 壽一 総合地球環境学研究所 所長

からだ文化研究会 1991年～1996年

開催日		研究会テーマ	講師
1991年	12月4日	コア会議準備会	
1992年	2月29日	計測データに見る平成の妊婦像	篠崎彰大 (株)ワコール人間科学研究所基礎研究チームマネージャ
	4月18日	歴史のなかのお産	落合恵美子 同志社女子大学社会学 専任講師
	6月20日	女性のライフステージにおけるホルモンの諸問題	田代眞一 国立京都病院臨床研究部 主任研究官
	9月5日	すばらしい母乳育児のために	山内逸郎 国立岡山病院 名誉院長
	10月17日	サルと人間&女性と乳房	大島 清 京都大学 名誉教授/愛知工業大学 教授
	12月19日	女性の健康とエアロビクス	都倉 隆 大津市民病院 産婦人科医長
1993年	1月23日	平成の新人類	篠崎彰大 (株)ワコール人間科学研究所基礎研究チームマネージャ
	3月27日	女性の皮膚とアレルギー	中山秀夫 東京都済生会中央病院 皮膚科医長
	4月17日	「産後のボディ美しく」出版記念セミナー	大島 清 京都大学 名誉教授/愛知工業大学 教授 小森尚子 (株)ワコールライフサイエンスアカデミー室長
	5月22日	地域医療と助産院	左古かず子 あゆみ助産院
	7月24日	女性のボディイメージについて	中井義勝 京都大学医療技術短期大学部 教授
	9月25日	人間にとって性教育とは何か	山本直英 “人間と性”教育研究所 所長
1994年	1月22日	アメリカ便り	本郷重彦 成安造形短期大学 教授
	3月26日	いい女の実年期	石塚文平 聖マリアンナ医科大学産婦人科学教室 助教授
	5月28日	臨床から見た妊娠出産	島岡昌幸 島岡医院 院長
	7月23日	平成女子大生のからだ意識	山名信子 京都女子大学 教授/上田幸代 (株)七彩/田村和子 池坊短期大学 教授
	9月17日	心とからだ	水谷幸正 浄土宗総合研究所 所長/佛教大学 教授
	11月26日	からだへのアプローチ 人間科学的ものづくり	篠崎彰大 (株)ワコール人間科学研究所基礎研究チームマネージャ
1995年	1月28日	21世紀家族へ	落合恵美子 国際日本文化研究センター 助教授
	3月18日	女性と肥満	吉田俊秀 京都府立医科大学第一内科 講師
	5月20日	心とからだのダイエット	鈴木正成 筑波大学体育科学系 教授
	7月22日	からだのしなやかさ	岡田節人 京都大学 名誉教授/生命誌研究館 館長
	9月9日	外科と漢方とからだ	傍島 徹 星ヶ丘厚生年金病院呼吸器外科 部長
	11月25日	ファッションとボディイメージ	深井晃子 (財)京都服飾文化研究財団 チーフ・キュレーター
1996年	1月20日	こころとからだ	佐々木恵精 京都女子大学宗教・文化研究所 所長
	3月23日	くすりとからだ	日置智津子 京都府立医科大学附属病院薬剤部

乳房科学研究会 1993年～1995年

開催日		研究会テーマ	演題・講師
1993年	10月30日	第1回 公開研究会 佛教大学四条センター	基調報告「なぜ今乳房科学なのか？」 田代眞一 国立京都病院臨床研究部 主任研究官
			記念特別講演「私と乳腺研究」星野一正 京都女子大学宗教・文化研究所 教授／京都大学 名誉教授
			記念シンポジウム「私の領域からみた乳房」
			「内分泌学・思春期内科学の領域から」中井義勝 京都大学医療短期大学部 教授
			「産婦人科学・東洋医学の領域から」村田高明 国保南多摩病院 院長
			「助産学（母乳育児・乳房管理）の領域から」山谷沢子 国立岡山病院 客員婦長
			「腫瘍学・外科学（乳癌・乳腺症）の領域から」工藤 昂 国立京都病院 外科医長
			「被服学・芸術学の領域から」小森尚子 （株）ワコールライフサイエンスアカデミー 室長
1994年	10月8日	第2回 公開研究会 京都女子大学 J校舎525教室	会長講演「乳房の仕組みと働き」星野一正 京都女子大学宗教・文化研究所 教授／京都大学 名誉教授
			「からだと心のあいだの乳房」田代眞一 昭和薬科大学病態科学教室 教授
			「乳房を測る」篠崎彰大 （株）ワコール人間科学研究所基礎研究チーム 課長
			招待講演
			1.「乳房とブラジャー」間壁治子 共立女子大学家政学部被服学科 教授
			2.「日本の近代化はおっぱいから」鬼頭 宏 上智大学経済学部 教授
1995年	10月7日	第3回 公開研究会 京都商工会議所講堂	テーマ「よそおいと乳房」
			「美しい乳房－ゴールデンカノンと美しい乳房」出利葉 文 （株）ワコール人間科学研究所基礎研究チーム
			「芸術造形表現における乳房」間壁治子 共立女子大学家政学部被服学科 教授
			「和服の着付けと乳房」服部和子 服部和子きもの学院 院長
			スペシャル・パフォーマンス 舞妓の着付けデモンストレーション 孝丸 祇園甲部舞妓／饗庭幸次 祇園甲部男衆
			「形成外科における乳房」酒井成身 聖マリアンナ医科大学形成外科 助教授

乳房文化研究会 1996年～

開催日		研究会テーマ	演題・講師
1996年	6月15日	特別公開研究会 乳房をめぐるQOL 京都女子大学 J校舎525教室	「乳ガン患者のQOLのためのリマンマ」伊藤由紀子 (株)ワコールリマンマ課 課長
			「乳ガン患者のQOLのための形成外科」酒井成身 聖マリアンナ医科大学形成外科 助教授
			「末期ガン患者の願い・ホスピスの体験から」柏木哲夫 大阪大学人間科学部 教授・/淀川キリスト教病院 名誉ホスピス長
			総合研究討論会
	10月5日	定例公開研究会 母性愛と乳房 京都女子大学 J校舎525教室	「愛はおっぱいから」橋本武夫 聖マリア病院 母子総合医療センター長
			「ダミーおっぱいは本物をこえられるか」石川光 ビジョン (株) 常総研究所開発部第4グループ マネージャー
			「吸啜刺激は脳に達して」大島 清 愛知工業大学 教授/京都大学 名誉教授
			「女性のからだと心・母性と文化を考える」原 ひろ子 お茶の水女子大学ジェンダー研究センター 教授
			「ホルモンと母性愛」星野一正 京都女子大学宗教・文化研究所 教授/京都大学 名誉教授
			総合研究討論会
1997年	1月18日	会員研究会 OMRON研修センター	「乳房を再建した私」三島英子 21世紀国際ノンフィクション大賞作家
	6月28日	会員研究会 OMRON研修センター	「乳房の流行史」実川元子 フリーランスライター・翻訳家
	10月25日	定例公開研究会 乳房とアイデンティティ 京都女子大学 J校舎525教室	「乳房のうたの系譜」道浦母都子 歌人
			「乳房への想い」山崎辰巳 (株)ワコール社長室 室長
			「男女の識別の難しさ」星野一正 京都女子大学宗教・文化研究所 教授/京都大学 名誉教授 + 乳房文化研究会 会長
			「ボディデザインとセクシャリティ」伏見憲明 文筆業
			「性同一性障害と乳房」原科孝雄 埼玉医科大学総合医療センター形成外科 教授
総合研究討論会			
1998年	1月17日	会員研究会 OMRON研修センター	「乳房に着目した分類名はどのように誕生したか」小川眞里子 三重大学人文学部 教授
	6月27日	会員研究会 京都女子大学J校舎	「乳房の由来」日高敏隆 滋賀県立大学 学長
	10月17日	定例公開研究会 乳房をめぐる世界の文化と歴史—地域文化における乳房への視点の多様性 京都女子大学 J校舎320教室	「ヒンドゥー教美術の女神像 インド美術と乳房」肥塚 隆 大阪大学文学部人文学科芸術史講座 教授
			「服飾文化の変容とオッパイ 東南アジアの服飾文化と乳房」内海涼子 成安造形短期大学服飾文化学科 助教授
			「チチとホト—乳房の日本文化史 日本古代史の中の乳房」鎌田東二 武蔵丘短期大学健康生活科 助教授
			「乳房の『文明化』—アフリカ女性の乳房観 アフリカ文化と乳房」板坂真季 京都大学大学院人間・環境学研究所 博士課程
			「授乳しない聖母—東地中海地域の乳房文化 ヨーロッパ圏の乳房」山口恵里子 筑波大学現代語・現代文化学系 講師
総合研究討論会			
6月	おっぱい作文実施	おっぱい作文・優秀作品 協力：京都女子大学附属小学校	

開催日		研究会テーマ	演題・講師
1999年	1月23日	会員研究会 OMRON研修センター	「乳房の社会学」北山晴一 立教大学大学院文学研究科比較文明学専攻 教授
	6月19日	定例研究会 変身願望と乳房 OMRON研修センター	「ふつうの乳房」川添裕子 千葉大学大学院社会文化科学研究科 博士課程
			「変身願望＝アンドロジナスたちの乳房」蔦森 樹 文筆家 パネルディスカッション
10月16日	定例研究会 ことばからみた乳房文化 OMRON研修センター	「ことばからみた乳房文化」崎山 理 国立民族学博物館民族文化研究部 総合研究大学院大学 教授	
2000年	1月9日	公開研究会 乳房と表象 京都女子大学 J校舎525教室	「おっぱいをつくる」松山 賢 アーティスト
			「感じる乳房—誰のものか？」上野千鶴子 東京大学大学院人文社会系 教授
			「表象としての乳房」伴田良輔 作家
			総合研究討論会
	6月17日	定例研究会 日本古代の乳房 —縄文から古墳文化に観る乳房 ワコール本社ビル	「縄文土偶と乳房」小野美代子 (財) 埼玉県埋蔵文化調査事業団 主席調査員
			「弥生時代の容器型土偶」書上元博 埼玉県桶川市教育委員会 主席主幹
			「古墳文化と乳房」塚田良道 行田市郷土博物館 学芸員 パネルディスカッション
	10月21日	公開研究会 音楽と乳房 —ミュージック フォア マンマ ワコール本社ビル	「DNAで表現する乳房—いのちをいやすバイオミュージック」河田光博 京都府立医科大学解剖学 教授
			「The Roots of Motherhoods in Classics—オキシトシンDNA音楽」横田知哉 京都府立医科大学公衆衛生学教室大学院医学研究科
「The Roots of Fertility in Synthesizer—エストロゲン・レセプターDNA音楽」加藤淑子 済生会京都府病院産婦人科 副部長			
「音楽作品の中の乳房—ジェンダー的考察の試み」荒川恵子 京都女子大学 講師			
「Jazz for Mamma」小川理子 松下電器産業(株) 音響エンジニア グランドフィナーレ—参加の皆様とご一緒に 瀬上洋子 特別出演「おっぱい都市宣言」山口県光市保健センター			
2001年	1月27日	定例研究会 現代日本のおっぱい考 ワコール本社ビル	作文「おっぱい」報告 北山晴一 立教大学大学院比較文明学専攻 教授
			「現代日本の乳房観—誘う乳房」実川元子 フリーランスライター・翻訳家 パネルディスカッション
2001年	6月1日 ~9日	OPPAI ART LAB. nr事情展 ワコール本社ビル および周辺野外	1. 公募アート作品展 テーマ：[この胸のときめきを] 創る
			2. 公開研究会 テーマ：[メッセージ21c] 6月1日 オープニング記念講演 「コンテンポラリーな乳房文化」鷺田清一 大阪大学大学院文学研究科 教授 6月2日 乳房文化研究会 会長講演 「にいとっぱい」田代真一 会長 + 昭和薬科大学病態科学教室 教授
			3. 研究会企画・展示コーナー 「乳房文化研究会」紹介コーナー／「葉草とおっぱい」展示コーナー／作文「おっぱい」報告コーナー
			4. 公開イベント「おっぱいキッズサミット」

開催日		研究会テーマ	演題・講師
2002年	1月26日	定例研究会 乳房とエイジング ワコール本社ビル	「乳房のスパイラル・エイジング」成松洋子 (株) ワコール人間科学研究所
			「女性の筋肉と体脂肪のエイジング」福永哲夫 東京大学大学院総合文化研究科 教授
			「ホルモンと乳房のエイジング」中井義勝 京都大学医療技術短期大学部 教授
			パネルディスカッション コーディネーター 篠崎彰大 (株) ワコール人間科学研究所 主席研究員
	6月15日	定例公開研究会 女性を撮る、乳房を創る —いま求められている乳房 ワコール本社ビル	「女性を撮る—美しい乳房とは」白井里実 フォトグラファー
			「乳房を創る—いま求められている乳房」高柳 進 メガクリニック 院長
			パネルディスカッション コーディネーター 加藤淑子 済生会京都府病院産婦人科 副部長
	10月19日	公開研究会 楽しいどう！ おっぱい哺育 ワコール本社ビル	「ここがへんだよ、現代育児—育児の昔と今」櫻井迪朗 遠州総合病院小児科 診療部長
			「愛はおっぱいから—その2」橋本武夫 聖マリア病院 母子総合医療センター長
			「母子関係の原点は乳幼児期」松尾恒子 甲南大学文学部人間科学科 教授
			「母乳とわらべ歌と脳」大島 清 京都大学 名誉教授/愛知工業大学 客員教授
			「おっぱい村で楽しく育児」島岡昌幸 島岡医院 院長
パネルディスカッション コーディネーター 島岡昌幸 島岡医院院長 田代明美 (医) 恵仁会 ラクトクリニック・ラクト健診センター 助産師・家族相談士			
2003年	1月25日	公開研究会 走る、跳ぶ、回る—スポーツと乳房 ワコール本社ビル	「スポーツにみる女性解放」寒川恒夫 早稲田大学人間科学部 教授
			「女性のからだとスポーツ」目崎 登 筑波大学体育科学系スポーツ医学 教授
			「乳房とスポーツバイオメカニクス」内田彰子 (財) 国際科学振興財団 研究員
			「スポーツブラジャー、その知られざる機能と重要性」岡 智恵子 (株) ワコールウェルネス事業部 CW-X選手担当
			「からだを大事にするトレーニング」永山忠幸 (株) ワコール女子陸上競技部 監督
			パネルディスカッション コーディネーター 都倉 隆 (医) 一心会 都倉病院 副院長
	6月7日	公開研究会 離乳・断乳・卒乳 —おっぱいをやめるとき、どう考えたらいい？ ワコール本社ビル	「母乳栄養・離乳の正しい理解」水野清子 母子愛育会・日本子ども家庭総合研究所 客員研究員
			「妊娠・授乳に関連して、お母さんの骨と健康を考える」福岡秀興 東京大学大学院医学系研究科国際生物医科学 助教授
			「母と子が互いに無理なく乳離れ」川谷和子 神戸市東灘区役所 子育て支援室/日本母乳の会 運営委員
			「母乳と医学」平山宗宏 母子愛育会・日本子ども家庭総合研究所 所長/母子健康手帳改正に関する検討会 座長
	パネルディスカッション コーディネーター 坂本晶子 (株) ワコール人間科学研究所 研究員		
	10月19日	公開研究会 感じる乳房 キャンパスプラザ京都	「乳房の感覚について考える」矢野健二 大阪大学大学院医学系研究科 助教授 (形成外科分野)
「乳房とマッサージ・アロマセラピー」川上昌美 漢方研究所杏門会 川上鍼療所 院長			
「乳房の性的興奮」大島 清 京都大学 名誉教授/愛知工業大学 客員教授			
パネルディスカッション コーディネーター 小森尚子 ウィメンズ ボディ デザイン研究所 代表			

開催日	研究会テーマ	演題・講師
2004年	1月24日 公開研究会 授乳と育児をめぐる社会システム ワコール本社ビル	「社会は授乳をどう支えているか—日本と世界の育児事情」古橋エツ子 花園大学社会福祉学部 教授
		「授乳を支援する社会システム」白石真澄 東洋大学経済学部 助教授
		「両性、類の子育て—性の役割を超えて」土堤内昭雄 (株)ニッセイ基礎研究所社会研究部門 主任研究員
		パネルディスカッション コーディネーター 北山晴一 立教大学大学院比較文学専攻 教授 パネリスト 講師+実川元子 フリーランスライター・翻訳家
	6月5日 公開研究会 思春期と乳房 ワコール本社ビル	「思春期の少女はバストの変化にどのような不安をいっているのか」永治知美 ワコール・ツボミ・スクール インストラクター
		「思春期からだと乳房発達のメカニズム—神経内分泌および内分泌環境の変化から考える」 小澤一史 京都府立医科大学大学院医学研究科生体構造科学部門 助教授
		「思春期のこころからだ—精神医学から考える」館 直彦 天理大学大学院臨床人間学研究科臨床心理学専攻 教授/医療法人社団 多摩川病院 院長
		パネルディスカッション コーディネーター 藤井孝子 (株)ワコール人間科学研究所 主席研究員
	10月16日 公開研究会 赤ちゃんからのサインは読み取れるのか？ ワコール本社ビル	「おなかの中の赤ちゃんとのコミュニケーション」きくちかえ マタニティ・コーディネーター/写真家
		「心身一如の保育で赤ちゃんのサインを受けとめる」佐々木浅子 社会福祉法人愛友会 愛友保育園 理事長 園長 八田静子 社会福祉法人愛友会 愛友保育園 乳児担当主任保育士
		「赤ちゃんからのメッセージを読み取るために」小西行郎 東京女子医科大学乳児行動発達学講座 教授/日本赤ちゃん学会 事務局長
		パネルディスカッション コーディネーター 星野一正 名誉会長 + 京都大学 名誉教授
2005年	6月4日 公開研究会 性の多様性とこれからの日本社会 ワコール本社ビル	「性の多様性と医療」針間克己 精神科医
		「性の多様性と法律」大島俊之 神戸学院大学法科大学院 教授
		「性の多様性とこれからの日本社会」 虎井まさ衛 作家/千葉大学 非常勤講師 阿倍まりあ 必殺女装人 溝口彰子 表象・ジェンダー論研究者/草の根文化系レスビアン・アクティヴィスト
		パネルディスカッション コーディネーター 北山晴一 立教大学大学院文学研究科比較文学専攻 教授
	10月15日 公開研究会 美しく老いる。—老いをめぐる"からだ"と"こころ" 京都市女性総合センター ウィングス京都	「老いとは何か？—生物学的視点から」内田亮子 早稲田大学国際教養学部 教授
		「加齢にともなう身体変化について」藤井孝子 (株)ワコール人間科学研究所 主席研究員
		「高齢女性の「性愛」について (映画「百合祭」ダイジェスト版上映)」 浜野佐知 映画監督
		パネルディスカッション コーディネーター 河田光博 京都府立医科大学大学院医学研究科解剖学教室 教授
2006年	1月28日 公開研究会 女性にやさしい性差医学・性差医療 ワコール本社ビル	「新しい医療の風—性差医療と女性外来」天野恵子 千葉県衛生研究所長/千葉県立東金病院 副院長
		「女性だからこそできる診療—乳がんとのお会いから心のケアまで」高木博美 高木ひろみ乳腺レディースクリニック 院長
		「女性のこころからだ性と性差医療」木内千暁 医療法人社団 木内女性クリニック 理事長
		パネルディスカッション コーディネーター 田代眞一 昭和薬科大学病態科学研究室 教授

開催日		研究会テーマ	演題・講師
2006年	6月3日	公開研究会 ファッションと乳房 ーバスト・コンシャスの過去・現在・未来 ワコール本社ビル	「ファッションから見るバスト・コンシャスの過去、現在、未来」新居理絵 (財) 京都服飾文化研究財団 アソシエイト・キュレーター
			「バスト・コンシャスなファッションと世相との関係 ー特に日本の戦後から現代までの流れを考える」 成実弘至 京都造形芸術大学 助教授
			「ワコールのポスターから読み解くーバスト・コンシャスの50年」 後藤真浩 (株) ワコール宣伝部クリエイティブ・ディレクター
			パネルディスカッション コーディネーター 実川元子 フリーランスライター・翻訳家
2006年	10月7日	研究会15周年記念 OPPAI LAB.ⅠⅡ 表象乳房 コラボレートOPPAI スパイラルホール	「ヒトの乳房はなぜ進化したか？」長谷川真理子 総合研究大学院大学 教授 「ファッションとバストイメージ」深井晃子 (財) 京都服飾文化研究財団 チーフ・キュレーター 「4人の授乳と形について」内田春菊 漫画家・作家・女優
			パネルトーク「おっぱいの話できますか？」 コーディネーター 北山晴一 立教大学大学院文学研究科比較文学専攻 教授
			アートコラボレーション A song of Artemis アルテミス賛歌 高田みどり 打楽器奏者/本郷重彦 造形作家
			15周年レセプション&交流会 + 15周年の活動を語る
2007年	1月27日	定例研究会 おっぱい万華鏡 ワコール本社ビル	「乳房曼荼羅」日置智津子 東海大学医学部東洋医学講座 講師
			ディスカッションⅠ 乳房文化研究会役員
			ディスカッションⅡ ご参加のみなさまを交えて…
	6月2日	定例研究会 見せることと隠すことの攻防ー20世紀誘惑の技法 [シリーズ・ワコールポスターを見ながら 1] ワコール本社ビル	「ワコールポスターにみる戦後日本の身体、乳房の表現 1」北山晴一 立教大学大学院文学研究科比較文学専攻 教授
			「見せることと隠すことの攻防」長澤 均 アート・ディレクター
			パネルディスカッション (ポスター関係者を交えて) ポスター関係者: 岩城賢作/尾崎建一 元 (株) ワコール宣伝部 コーディネーター 北山晴一 + 実川元子
10月13日	定例研究会 女の目・男の目ー人間の目から見る身体と乳房 [シリーズ・ワコールポスターを見ながら 2] ワコール本社ビル	「ワコールポスターにみる戦後日本の身体、乳房の表現 2」北山晴一 立教大学大学院文学研究科比較文学専攻 教授	
		「女の目・男の目・人間の目から見る身体と乳房」笠原美智子 東京都写真美術館 事業企画課長	
		パネルディスカッション (ポスター関係者を交えて) ポスター関係者: 岩城賢作 元 (株) ワコール宣伝部 コーディネーター 北山晴一 + 実川元子	
2008年	1月26日	定例研究会 乳房をめぐる犯罪と法律 ワコール本社ビル	問題提起「今なぜ乳房と法律・犯罪か」田代眞一 昭和薬科大学病態科学研究室 教授 「モザイク4事件に見るアメリカの乳房観」実川元子 フリーランスライター・翻訳家
			「乳がん・豊胸手術等に関する医療裁判をめくって」水島幸子 水島綜合法律事務所 所長 弁護士
			「セクハラ判例に見る乳房」四宮章夫 弁護士法人淀屋橋・山上合同 弁護士/京都産業大学法科大学院 教授
			「乳房をめぐるその他の法律問題」大島俊之 弁護士法人淀屋橋・山上合同 弁護士/九州国際大学法学部 教授
			パネルディスカッション コーディネーター 田代眞一
	6月7日	定例研究会 乳房と脳ー人と動物からのメッセージ ワコール本社ビル	問題提起「授乳から見た母子関係」河田光博 京都府立医科大学大学院医学研究科解剖学・生体構造科学 教授
			「赤ちゃんがお乳を吸くと、母親に何が起きるか？」樋口 隆 福井大学医学部統合生理学教室 教授
			「変貌する乳がん治療」李 哲柱 京都第一赤十字病院乳腺外科 部長
			「おっぱいがつなぐ命のバトン」濱戸祥平 シープバレーくずまき (Sheepvalley KUZUMAKI) 代表
			パネルディスカッション コーディネーター 河田光博

開催日		研究会テーマ	演題・講師
2008年	10月18日	定例研究会 女の服を着る男たち・ 男の服を着る女たち —中国とフランスの異性装の歴史にみる乳房 ワコール本社ビル	問題提起「男の服・女の服を踏み越えるのはタブー？ それとも快感？」実川元子 フリーランスライター・翻訳家
			「男の乳房がふくらむとき—中国乳房文化ノート」武田雅哉 北海道大学大学院文学研究科 教授
			「男装は戦略か？—フランスの女流作家サンド、コレットから現代の女性まで」 高岡尚子 奈良女子大学文学部 准教授
			パネルディスカッション コーディネーター 実川元子
2009年	1月31日	定例研究会 妊娠・出産・育児のサポートを考える —産前産後のことから ワコール本社ビル	問題提起「妊産婦に寄り添うということ」寺元千佳 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター看護部 助産師
			「クリフムにおける最先端胎児診断と周産期コーディネーター—正確な胎児病診断が両親の涙を笑顔に満ちた決意に変える瞬間」夫 律子 クリフム夫律子マタニティクリニック 臨床胎児医学研究所 院長／米国コーネル大学産婦人科 客員教授
			「写真で綴る看護職による妊産期支援 寄り添うということ—知識の提供だけではない支援」 谷口知子 看護師 + (有) キュアリンクケア 代表
			パネルディスカッション コーディネーター 寺元千佳
	8月8日	定例研究会 現代親子のおかれる環境と子育て支援 —子育てから 子育て・親育ちへ ワコール本社ビル	「現代親子のおかれる環境と子育て支援—子育てから 子育て・親育ちへ」 柏木恵子 東京女子大学 名誉教授
			パネルディスカッション コーディネーター 田代明美 (医) 康生会 ラクトクリニック・ラクト健診センター 看護部長／助産師・家族心理士
10月24日	定例研究会 罹患体験から語る(乳癌)の意味 ワコール本社ビル	「データとしての私」 「私のからだ、私のこころ」鈴木淳子 アーティスト + 女子美術大学 講師 (メディア論) パネルディスカッション コーディネーター 北山晴一 立教大学大学院文学研究科比較文明学専攻 教授	
2010年	1月23日	定例研究会 人体の美しさを考えよう —芸術学から・動物学から ワコール本社ビル	問題提起「からだの美のフランスを求めて」平田多津子 (株) ワコール人間科学研究所 主任研究員
			「芸術の中の裸体美—西洋から日本へ」高階絵里加 京都大学人文科学研究所 准教授
			「綺麗な動物として人間を見る—容姿の進化論」蔵 琢也 早稲田意志決定研究所 客員研究員 + 進化心理学者
			パネルディスカッション コーディネーター 平田多津子
2010年	6月5日	定例研究会 サブカルチャーと乳房 —マンガ・アニメの美少女のボディイメージ ワコール本社ビル	オーガナイザー 坂 里祭 (株) ワコール人間科学研究所 主任研究員
			「少年マンガにおける美少女の身体」表 智之 京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム 研究員
			「女子目線でみたマンガ・アニメの身体デザイン」川原和子 マンガエッセイスト
			「美少女身体の立体創造」BOME (株) 海洋堂 制作部 制作課 大阪造形室 主任 インタビュー 実川元子 フリーランスライター・翻訳家
			パネルディスカッション コーディネーター 北山晴一 大阪樟蔭女子大学 教授
	10月16日	定例研究会 ダンスにおける美しさの表現 —身体表現と乳房 ワコール本社ビル	オーガナイザー 坂 里祭 (株) ワコール人間科学研究所 主任研究員
			「“身体表現”への生理学的アプローチ」大塩立華 soranomado project Inc. 代表取締役・医学博士
			「バレエスクダンスの身体表現」TAMAYO 女優・バレエダンサー
「宝塚・舞台における身体表現」御織ゆみ乃 振付家			
		パネルディスカッション コーディネーター 北山晴一 大阪樟蔭女子大学 教授	

開催日		研究会テーマ	演題・講師
2011年	1月22日	定例研究会 身体改造と乳房 ワコール本社ビル	「美容整形の社会学 身体改造に向う女性の心理」谷本奈穂 関西大学総合情報学部 准教授
			「乳房の美容医療」吉村浩太郎 東京大学医学部 形成外科 講師
			「身体改造—“美しくなる”ことの意味と価値 時代はどんな美を求めているのか？」 倉田真由美 美容ジャーナリスト
			パネルディスカッション コーディネーター 実川元子 フリーランスライター・翻訳家
2011年	6月4日	会員研究会 災害時の母乳育児支援 ワコール本社ビル	オーガナイザー 田代真一 乳房文化研究会 会長
			「災害時の母乳育児支援」瀬尾智子 星ヶ丘マタニティ病院小児科
			パネルディスカッション
	10月22日	定例研究会 Message from 3.11 母乳でつなぐ命 part 1 ワコール本社ビル	「被災地・福島県いわき市の実態」里見孝弘 福島県保健衛生協会 医師・乳房文化研究会会員
			「被災地の実態—これまでの支援をふりかえって」井口優子 井口小児科内科医院
			「被災地の実態—地域医療に携わる医師の立場から」大江与喜子 医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院 院長
パネルディスカッション コーディネーター 実川元子 フリーランスライター・翻訳家			
2012年	1月28日	特別研究会 Message from 3.11 母乳でつなぐ命 part 2 ワコール本社ビル	問題提起「環境汚染と母乳哺育」北山晴一 大阪樟蔭女子大学 教授
			「からだのなかの放射能」安斎育郎 安斎科学・平和事務所 所長
			「いのちのバトン」鎌田 貴 諏訪中央病院 名誉院長
			パネルディスカッション コーディネーター 北山晴一
	6月2日	定例研究会 乳房—元気について ワコール本社ビル	「生きる力のひきだし方—国際支援の現場から」木山啓子 特定非営利活動法人ジェン（JEN） 理事・事務局長
			「食」で「育む」生きる力 坂本廣子 食育・料理研究家／農林水産技術会議委員
			「心の元気—潜在意識の引き上げ方」久瑠あさ美 ff Mental Room（フォルテッシモメンタルルーム）代表／メンタルトレーナー
			パネルディスカッション コーディネーター 小森尚子 ウィメンズ ボディ デザイン研究所 代表
2012年	10月27日	定例研究会 元気アップ・バストアップ —バストアップ法・エクササイズ法の考察 京都祇園ホテル	「乳房とそれを支える構造について」山口久美子 東京医科歯科大学歯医学融合教育支援センター・臨床解剖学分野 講師/医師・医学博士
			「きれいなバストを維持するひけつ」原 志保（株）ローズソーン 代表取締役
			「きれいなカラダのつくり方」八田倫子（株）R-body project アスレティックトレーナー
			パネルディスカッション コーディネーター 実川元子 フリーランスライター・翻訳家 パネリスト 講師+河田光博 京都府立医科大学 大学院医学研究科 教授
2013年	1月26日	定例研究会 文学作品に見る乳房 ワコール本社ビル	「文学作品から見た乳房」高城修三 作家（第78回芥川賞受賞）
			「私たちが初めて出会う母の乳房—現象学的考察」小川 侃 京都大学 名誉教授/甲子園大学 学長
			パネルディスカッション コーディネーター 本郷重彦 造形作家 パネリスト 講師+米澤 泉 甲南女子大学 人間科学部 文化社会学科 准教授

開催日		研究会テーマ	演題・講師
2013年	6月8日	定例研究会 母と子をつなぐ母乳哺育 ワコール本社ビル	「母子栄養学から見た母乳哺育の新展開」成田宏史 京都女子大学家政学部食物栄養学科 教授
			「人間らしさを育む授乳—おっぱいを与える母性と子育ての発達進化」 竹下秀子 滋賀県立大学人間文化学部人間関係学科 教授
			パネルディスカッション コーディネーター 廣瀬潤子 滋賀県立大学人間文化学部生活栄養学科 准教授
2013年	7月17日 ～21日	OPPAI ART LAB. nr事情展 2013 in 禅居庵 臨済宗建仁寺塔頭 禅居庵	1.公募 アート 作品 展 テーマ：「この胸のときめきを」ふたたび…… アート作品展 平面および立体作品
			2. 特別イベント パフォーマンス1 「Bosom 2001 → 2013」torso * 栗棟一恵子 パフォーマンス2 「ユカイなおっぱい」池上正秋
			3. 同時開催イベント 「高城修三 連歌会」
2013年	10月5日	定例研究会 ファッション誌と乳房 ワコール本社ビル	「ファッション写真と乳房」馬場伸彦 甲南女子大学文学部メディア表現学科 教授
			「ぼちゃカワブームと乳房」中沢明子 ライター・出版ディレクター
			パネルディスカッション コーディネーター 米澤 泉 甲南女子大学人間科学部文化社会学科 准教授
2014年	6月7日	定例研究会 アジアにおける乳房観 Part 2 —アジア ブラジャー 売る人・買う人 ワコール本社ビル	「アジアにおける下着市場」関口満 (株)ワコール国際本部 事業管理部長
			「アジア各国の下着購入実態調査—アンケート調査のまとめ・報告」小池宋里花 滋賀県立大学人間文化学部国際コミュニケーション学科 3回生
			公開討論会 コーディネーター 実川元子 フリーランスライター・翻訳家 パネリスト 講師+留学生の方々
	2014年	10月25日	定例研究会 乳がんは、予測できる？ ワコール本社ビル
「ジャーナリストが見た、乳房の切除」柴田菜々子 朝日新聞西部報道センター社会部 記者			
「遺伝と遺伝カウンセリング」荒井優気 理化学研究所/先端医療センター病院/京都府立医科大学附属病院（非常勤）遺伝カウンセラー			
パネルディスカッション コーディネーター 田代眞一			
2015年	1月24日	定例研究会 現代ティーンのことろから ワコール本社ビル	「ジュニアのバスト成長の事実」秋野智子 (株)ワコール人間科学研究所 研究員
			「ティーンファッション雑誌に見る中学生のボディ意識」眞部菊実 (株)新潮社『nicola』(ニコラ) 編集長
			「現代少女のからだところ」谷口麻起子 聖泉大学人間学部人間心理学科 准教授/臨床心理士
			パネルディスカッション コーディネーター 山口由美子 聖泉大学看護学部成人看護学領域 非常勤助手
2015年	2月21日	『乳房の文化論』出版記念イベント 青山・スパイラル	出版記念講演 田代眞一(会長)/北山晴一/本郷重彦/米澤泉(以上、運営委員)/[挨拶]平井信(株)淡交社取締役副社長)
			出版記念パーティ
2015年	6月20日	定例研究会 美術解剖学と乳房 —動きの中での解剖学 ワコール本社ビル	「美術解剖学からみた乳房」宮永美知代 東京藝術大学美術教育(美術解剖学Ⅱ)研究室 助教
			「乳房の視覚的表現」佐藤良孝 メディカルイラストレーター/有限会社彩考 代表取締役
			パネルディスカッション コーディネーター 山口久美子 東京医科歯科大学 先駆的医療人材育成分野 講師
	2015年	10月24日	定例研究会 アジアにおける乳房観 Part 3 —中国人女性の身体意識と文化・ファッション ワコール本社ビル
「中国人女性の身体意識と下着の好み」徐朝暉 中国ワコール人間科学研究開発センター 部長			
『乳房』の画像と記憶—中国・ロシア・日本の表象比較研究』からの中間報告 武田雅哉 北海道大学大学院文学研究科・文学部(中国文化論講座) 教授			
パネルディスカッション コーディネーター 実川元子 フリーランスライター・翻訳家			

開催日	研究会テーマ	演題・講師
2016年	1月23日 定例研究会 人工乳と栄養 ―ヒト母乳中の機能成分 ワコール本社ビル	「赤ちゃんとお母さんの健やかな明日のために―人工乳開発の立場から」上田木綿子 アイクレオ（株）マーケティング部研究開発課
		「母乳中のオリゴ糖の働き―ビフィズス因子としての機能」片山高嶺 京都大学大学院生命科学研究科 教授/石川県立大学 特任教授
		パネルディスカッション コーディネーター 廣瀬潤子 滋賀県立大学人間文化学部生活栄養学科 准教授
	7月23日 定例研究会 乳がんの検診とサポートを考える ワコール本社ビル	「乳がん検診の基礎知識 1」阪口晃一 京都府立医科大学内分・乳腺外科 講師
		「乳がん検診の基礎知識 2」飯嶋由香里 沢井記念乳腺クリニック 乳がん看護認定看護師
		「乳がんを生きる―一日の診療とサポート、そして語り」八木彌生 元 佛教大学保健医療技術学部看護学科 教授
	11月19日 定例研究会 静と動の美しさ ワコール新京都ビル	パネルディスカッション コーディネーター 鳥屋尾優子 (株)ワコール総合企画室広報・宣伝部 スクール 企画課長
		「身体表現とコミュニケーション」柴眞理子 放送大学東京足立学習センター 所長
		「ロボットデザインと人間デザイン」高橋智隆 (株)ロボ・ガレージ 代表取締役社長/東京大学先端科学技術研究センター 特任准教授
2017年	1月21日 定例研究会 オキシトシンと乳房 ワコール新京都ビル	パネルディスカッション コーディネーター 杉野菜穂子 (株)ワコール人間科学研究所研究開発課
		「オキシトシン―周産期の現場から」大田康江 順天堂大学医療看護学部 助教
		「行動や感情も変える！ オキシトシンの不思議」兼子将敏 NHK番組制作局科学・環境番組部 チーフディレクター
	6月24日 『乳房の科学』出版記念研究会 女性のからだところの問題に向き合う ワコール新京都ビル	「乳房の内と外をやさしく科学で読み解く」河田光博 佛教大学保健医療技術学部 教授・京都府立医科大学名誉教授
		「特別パフォーマンス&インタビュー」 ROBIN/豹凛/A:co/SHIORIAL/TETSUKO/北山晴一
		「乳房（おっぱい）にこころはあるか ―『乳房の文化論』から『乳房の科学』の出版と今後の展望」北山晴一 立教大学 名誉教授
		『乳房の科学』の出版に当たって 千葉徹 朝倉書店 編集者
	10月14日 定例研究会 ブラパン100！ ―聞きたくても聞けない、下着のホンネ ワコール新京都ビル	「ブラパン（ブラとパンツ）について」川勝和美 (株)ワコール総合企画室広報・宣伝部WEB・CRM企画課
		公開討論会 コーディネーター 実川元子 フリーランスライター・翻訳家 パネリスト 講師+ご応募いただいた20～40代の女性8名
2018年	1月20日 定例研究会 現代日本の授乳と子育て ワコール新京都ビル	「江戸の乳と子どもの「いのち」」沢山美果子 岡山大学大学院社会文化科学研究科 客員研究員
		「家事労働ハラスメント―生きづらさの根にあるもの」竹信三恵子 和光大学現代人間学部現代社会学科 教授
		パネルディスカッション コーディネーター 川添裕子 松蔭大学コミュニケーション文化学部 教授 パネリスト 講師+有本尚史 甲南女子大学人間科学部文化社会学科 講師
	6月9日 定例研究会 アジアにおける乳房観 Part 4 モンゴル文化と女性 ―モンゴル民族衣装の変容と下着観 ワコール本社ビル	「現代モンゴル女性の民族衣装の変容」速見綾 滋賀県立大学人間文化学部 3回生 オトゴンバヤル・サロール モンゴル国立大学科学教養学部考古学・人類学学科 4回生
		「モンゴル文化と女性 家事と子育てをめぐって」島村一平 滋賀県立大学人間文化学部国際コミュニケーション学科 准教授
		「モンゴル人女性の下着の嗜好」宮本百合子 モンゴル国立大学語学準備コース 研究生 ガンバートル・ソルザヤ 滋賀県立大学人間文化学部 研究生
		パネルディスカッション コーディネーター 廣瀬潤子 滋賀県立大学人間文化学部生活栄養学科 准教授

開催日		研究会テーマ	演題・講師
2018年	10月27日	定例研究会 授乳と女性のライフスタイル —液体ミルク・母乳バンクをめぐる— ワコール新京都ビル	「液体ミルクの国内導入と普及への課題」末永恵理 乳児用液体ミルクプロジェクト 代表
			「母乳バンクの普及と課題」水野克己 昭和大学医学部小児科学講座 教授
2019年	2月16日	定例研究会 身体知を共に考え、体験する —こころ、からだ、乳房 ワコール新京都ビル	「非分析的判断に必要な身体知性とは？」佐藤友亮 神戸松蔭女子学院大学人間科学部 准教授
			「ままならない体を生きる」伊藤亜紗 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院/環境・社会理工学院 准教授
			「～体験～身体と心をととのえる禅の作法」藤井隆英 曹洞宗一月院 副住職/整体師/zafu 代表/身心堂 主宰
	6月22日	定例研究会 身体知Part2—バストをめぐる思い込み ワコール新京都ビル	「バスト計測と理想バストの変遷」小川はるな 株式会社ワコール人間科学研究所 研究員
			「理想の体型とバストの心理」菅原健介 聖心女子大学文学部人間関係学科 教授
			「美乳特集の歴史と変遷」北脇朝子 株式会社マガジンハウス『anan』編集長
			パネルディスカッション コーディネーター 米澤 泉 甲南女子大学人間科学部文化社会学科 教授
2020年	2月1日	定例研究会 文学と乳房—日本と中国、中世から現代までの文学作品に乳房は誰のものとして描かれているか？ ワコール本社ビル	「乳房は誰のものか—『源氏物語』に描かれた乳母、母、父、子 それぞれにのる乳房から権力構造と家族関係を読み解く」木村朗子 津田塾大学学芸学部多文化・国際協科 教授
			「恋する乙女の胸のうち—中国女性の乳房と足が解かれたとき」濱田麻矢 神戸大学大学院人文学研究科 教授
			「にせもののおっぱい ほんもののおっぱい—日本近現代文学に描かれた乳房」藤木直実 日本女子大学文学部日本文学科 講師
	10月24日	定例研究会 乳房の表象 —乳房と乳首をめぐるタブーと礼賛 ワコール新京都ビル+オンライン	パネルディスカッション コーディネーター 実川元子 フリーランスライター・翻訳家
			「人魚の乳房文化論—いかにして貝殻がブラと化すにいったか」向後恵理子 明星大学人文学部日本文学文化学科 准教授
			「ロシア革命と乳房—乳母と聖母のイメージ」越野 剛 東京大学文学部・大学院人文社会系研究科 助教
			「乳首はなぜ描かれる／描かれない？—古代から近代の日本文化に見る」田中貴子 甲南大学文学部日本語日本文学文化学科 教授
			パネルディスカッション コーディネーター 実川元子 フリーランスライター・翻訳家
2021年	2月20日	定例研究会 重力と乳房 オンライン	「無重力と人体」松本暁子 宇宙航空研究開発機構(JAXA) Flight Surgeon/東京医科歯科大学 客員教授/徳島大学大学院 客員教授
			「重力と健康と細胞」跡見順子 東京農工大学 客員教授/東京大学 名誉教授
			「重力と太極拳～重力と戯れるからだ～」極子 東京大学・慶應義塾大学 非常勤講師/楊式伝統太極拳師範・正弟子第七代/光風霽月会 主宰
	6月19日	定例研究会 コロナ時代が変える出産・授乳・育児 オンライン	パネルディスカッション コーディネーター 山口久美子 東京医科歯科大学統合教育機構 講師
			「科学の視点からヒトの育ちに必要な条件を考える—親子はともに社会で育てるべき対象である—」明和政子 京都大学大学院教育学研究科 教授
			「オンラインの妊産婦支援」杉浦加菜子 株式会社じょんしGLOBAL Inc. 代表取締役
			「父親が子育てをおもしろがる社会の実現について」篠田厚志 NPO法人ファザーリング・ジャパン関西 前理事長/株式会社Drop 取締役CHRO
			パネルディスカッション コーディネーター 廣瀬潤子 京都女子大学家政学部 教授

開催日		研究会テーマ	演題・講師
2021年	2月1日	定例研究会 コロナ時代が変える マザリング (mothering) ・ファザリング (fathering) ワコール新京都ビル+オンライン	『『46歳で父になった社会学者』が育児を通して考えたこと』工藤保則 龍谷大学社会学部 教授
			『コロナ禍で問われる『おかあさんのミカタ』』高石恭子 甲南大学文学部 教授/学生相談室専任カウンセラー
			パネルディスカッション コーディネーター 米澤泉 甲南女子大学人間科学部文化社会学科 教授
	11月13日	特別講演会 田代先生の名誉会長をお祝いする会 ワコール本社+オンライン	第1部 田代真一名誉会長講演「私の乳房文化研究」 第2部 参加者から寄せられたコメント
2022年	6月18日	会員研究会 いま、乳がんの同病者関係を考える ーピア・サポート、友情、そして別れを越えて…… ワコール本社+オンライン	「いま、乳がんの同病者関係を考えるーピア・サポート、友情、そして別れを越えて…」 菅森 朝子 立教大学社会福祉研究所 研究員
			コメント 飯嶋由香里 足立乳腺クリニック 乳がん看護認定看護師
			質疑・討論 コーディネーター 北山晴一 立教大学 名誉教授
2022年	11月12日	会員研究会 Z世代の身体観・乳房観 ワコール本社+オンライン	Z世代のジェンダーフリーな身体観/TikTokは欲望喚起装置/Z世代の下着選びとSNS 甲南女子大学人間科学部文化社会学科の学生
			「ヴァーチャル空間に投影した身体の機能性」久保 友香 メディア環境学者
			パネルディスカッション コーディネーター 米澤泉 甲南女子大学人間科学部文化社会学科 教授
2023年	1月28日	会員研究会 日本の乳信仰 オンライン	「イチョウ巨樹の乳信仰と女性」児島恭子 元 札幌学院大学 教授
			「日本の乳信仰を探る」奥起久子 小児科医、新生児科医
			「乳信仰：現代人は何故、何に祈るのか？」日置智津子 近畿大学法人本部社会連携推進センター 講師
			パネルディスカッション コーディネーター 日置智津子
2024年	2月24日	定例研究会 「乳房とwell-being」 ワコール本社+オンライン	第1部 「これまでの振り返りと今後の展望」 河田光博 会長
			「乳房を取り巻くテーマ (これまでの取り組み・今後の取り組み) 米澤泉委員/阪口晃一先生/廣瀬潤子委員/濱田麻矢委員
			第2部 記念講演「人間の性の進化と家族の行方」 山極壽一 総合地球環境学研究所 所長 /モデレーター 山口久美子委員
			「乳房文化研究のこれから」 北山晴一委員 /総司会 岡美奈子委員
2024年	6月22日	定例研究会 「乳がんと生きていく」 ワコール本社+オンライン	「がんになっても人生は終わらないーがんサバイバーシップ」 研究者そして家族の立場から」 高橋都 日本がんサバイバーシップネットワーク代表理事
			パネルディスカッション コーディネーター 菅森朝子 立教大学社会学部 助教
2024年	11月30日	定例研究会 「性の多様性の科学」 京都光華女子大学+オンライン	「性の多様性の科学」 小林牧人 国際基督教大学 特任教授
			「命と未来とLGBTQ」 坂本珠希 京都府乙訓教育局 指導主事
			質疑・討論 コーディネーター 小澤一史 佛教大学保健医療技術学部 理学療法学科 教授
2025年	2月8日	定例研究会 「フェムテック～女性の健康課題を科学技術で解決する～」 京都光華女子大学+オンライン	「島津製作所における女性の健康課題に関する取り組み」 赤澤礼子 株式会社島津製作所 基盤技術研究所
			「女性のライフコースを支える健康支援～現場の知見と新たな挑戦～」 松原圭子 国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター オープンイノベーションセンター準備室 室長
			質疑・討論 コーディネーター 赤澤礼子 株式会社島津製作所 基盤技術研究所

2001年

「OPPAI ART LAB. πr 事情展」を開催



2001年6月1日(金)~9日(土)
株式会社ワコール本社ビル

公募アート作品展
公開研究会
研究会企画展示コーナー
公開イベント



「OPPAI ART LAB. πr 事情展」
入賞作品。



■審査員特別賞「藝術賞」
作品 NO.173
作者 公城「ARTEMIS SUIT(アルテミススーツ)」
今回の展示のなかで最も文芸的かつ精神的な要素を多く含み、またその表現も非常に洗練された、かつ、斬新な表現が評価された。また、その表現も非常に洗練された、かつ、斬新な表現が評価された。



■優秀賞
作品 NO.276
作者 藤越「OPPAIの誕生」
タイトル通り、「OPPAIの誕生」のイメージが表現され、また、その表現も非常に洗練された、かつ、斬新な表現が評価された。



■優秀賞
作品 NO.289
作者 多野「HER NIPPLES」
乳房の文化のなかで最も重要な要素として表現されている。その表現も非常に洗練された、かつ、斬新な表現が評価された。



■審査員特別賞「藝術賞」
作品 NO.200
作者 マリモ「OPPAI ロケット OPPIA ROCKETS」
今回の展示のなかで最も文芸的かつ精神的な要素を多く含み、またその表現も非常に洗練された、かつ、斬新な表現が評価された。



■審査員特別賞「山岳賞」
作品 NO.288
作者 藤越「山の麓の静けさ」
今回の展示のなかで最も文芸的かつ精神的な要素を多く含み、またその表現も非常に洗練された、かつ、斬新な表現が評価された。



■審査員特別賞「雑賞」
作品 NO.138
作者 多野「DONO DALLA MIA MAMMA
お母さんからの贈り物」
今回の展示のなかで最も文芸的かつ精神的な要素を多く含み、またその表現も非常に洗練された、かつ、斬新な表現が評価された。



■審査員特別賞「本賞」
作品 NO.112
作者 多野「Psychodelic Circuit」
乳房の文化のなかで最も重要な要素として表現されている。その表現も非常に洗練された、かつ、斬新な表現が評価された。

2006年

「表象乳房 コラボレートOPPAI」を開催



日時/2006年10月7日(土)
場所/東京 スパイラルホール



14時～16時 パネルトーク

「おっぱいの話できますか？」

ヒトの乳房はなぜ進化したか?
長谷川真理子 (総合研究大学院大学 教授)

ファッションとバストイメージ
深井晃子 (京都服飾文化研究財団チーフキュレーター)

4人の授乳と形について
内田春菊 (漫画家・作家・女優)

コーディネーター
北山晴一 (立教大学大学院 教授)

16時20分～17時10分 アートコラボレーション

「A song of Artemis アルテミス賛歌」

—母なる大地の女神 野辺を駆け引矢をかまえた
その眼差しの先に何を見るのか。豊穡の乳房を抱き
月の光に咆吼する。その叫びは世界を響かせ 人々
を歓喜させる歌となる。—

出演 高田みどり (パーカッション)
本郷重彦 (舞台造形)

17時20分～18時 15周年レセプション&交流会

「15年間の活動を語る」

—「女性のからだと心—乳房文化研究会の15年—

2013年

「OPPAI ART LAB. π r事情展 2013 in 禅居庵」を開催



2013年7月17日(水)~21日(日)
臨濟宗建仁寺塔頭 禅居庵

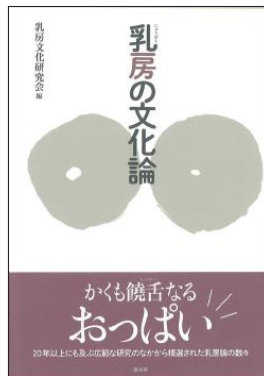
公募アート作品展
特別パフォーマンス
同時開催イベント
「高城修三 連歌会」



2014年／2017年 書籍を出版

①『乳房の文化論』淡交社、2014年発行

20年以上にわたる講演活動の中から「文化」に関する論考（一部書き下ろしあり）をまとめた書籍『乳房の文化論』を出版しました。本書には、乳房にかかわる論考が14本収められています。

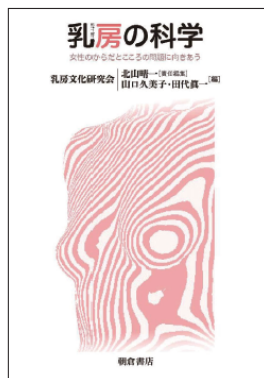


●目次

乳房文化研究会とその歩み 田代真一
乳房の社会学 北山晴一
感じる乳房—誰のものか？ 上野千鶴子
中国乳房文化論ノート 武田雅哉
チチとバスト—乳房の日本文化史 藤田東二
古墳文化と乳房 塚田良彦
古代インド美術の乳房表現 肥塚 隆
乳房に生まれる ヨーロッパにおける授乳するマリア像 山口恵里子
美術のなかの裸体美 西洋から日本へ 高階絵里加
少年マンガにおける美少女の身体 表 智之
容姿の進化論 簡潔な動物として人間を見る 蔵 塚也
揺れ動くおっぱい—ファッションと女性性への視線 深井晃子
「女子」的乳房—メディアと下着と身体と 米澤 泉
乳房学の深化のために 総説にかえて 北山晴一

②『乳房の科学』朝倉書店、2017年発行

20年以上にわたる講演活動の中から「科学」に関する論考（一部書き下ろしあり）をまとめた書籍『乳房の科学』を出版しました。本書には、乳房にかかわる論考16本とコラム3本が収められています。



●目次

序章—からだどこころの間の乳房 田代真一
第1部 しくみ—成熟する乳房
1章 ヒトの乳房はなぜ進化したか 長谷川真理子
2章 成長と加齢による体型変化 山本智子・岸本泰蔵
コラム1:少女がたくバストの変化への不安 小林知美
3章 思春期のからだ乳房発達 小澤一史
4章 乳房の表面・内部構造・乳腺 河田光博
5章 乳房とそれを支える構造 山口久美子
第2部 医療—よみがえる乳房
6章 変わる乳がん治療 李 哲柱
7章 乳がんにおける乳房再建 高柳 進
8章 乳房の感覚 矢野健二
9章 乳房と美容整形—患者の声から— 川添裕子
コラム2:日本語「乳」(チチ)および関連する言葉のルーツ 崎山 理
第3部 授乳—いのちを育む乳房
10章 赤ちゃんがお乳を吸うと、母親になが起きるか 樋口 隆
11章 母乳の医学 平山宗宏
12章 母子栄養学から見た母乳哺育 成田宏史・廣瀬潤子
13章 母乳栄養・離乳の正しい理解 水野清子
14章 愛はおっぱいから—育児の原点としての授乳の生理 橋本武夫
コラム3:私の最初の他者との出会い—母の乳房についての現象学的覚書 小川 侃
終章 乳房にそこはるか 北山晴一

乳房文化研究会では、乳房をキーワードに多岐にわたるテーマを取り上げ、さまざまな問題について情報交換・探求を行い、研究活動を展開しています。
通常、年3回（6月・10月・1月）研究会を開催しており、一般の方でも参加いただけますが、会員の方には、以下の特典があります。

- ①研究会の開催案内を定期的にお届けします。
- ②研究会の参加費は無料です。
（団体会員の場合は人数制限ありません）
- ③過去の講演録（アーカイブ）が閲覧できます。
- ④運営委員会に参加して研究会の企画提案ができます。
（団体会員の場合）

年会費： 個人会員 5000円
団体会員 1口1万円 2口以上

入会をご希望の方は、下記事務局へ
住所・氏名・メールアドレスをご記入のうえ、メール・FAX・郵送などで、
入会手続き資料をご請求ください。

乳房文化研究会 事務局

〒601-8530 京都市南区吉祥院中島町29 株式会社ワコール内

TEL: 075-682-1178 / FAX: 075-682-1037

E-mail: nyu-bun@wacoal.co.jp

<http://www.wacoal.jp/c/nyubou-bunka/index.html>

一般社団法人乳房科学研究所の設立について

今後の乳房文化研究会の活動を円滑に、また発展的に実施していくことを目的に「一般社団法人乳房科学研究所」を2023年7月6日に設立しました。

名称： 一般社団法人乳房科学研究所

法人設立の年月日： 2023年7月6日

目的： 当法人は、乳房の科学と文化に関する事業を行い、その調査、研究及び啓発を行うこととする。当法人は、上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 研究事業
- (2) 出版事業
- (3) 講演事業
- (4) 啓発事業
- (5) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

代表理事： 北山晴一（立教大学名誉教授）

理事： 米澤 泉（甲南女子大学教授）

主たる事務所： 東京都中央区に置く。

＜研究活動＞ 乳房文化研究会

研究会会員

運営委員会

- 会長
- 事務局
- 講演録編集担当
- 広報・情報発信担当
- 監事・顧問

「一般社団法人乳房科学研究所」

乳房文化研究会

(年度)

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
会長	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一
常任運営委員	加藤淑子	加藤淑子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子
	佐々木恵精	佐々木恵精	佐々木恵精	佐々木恵精	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一
	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦
運営委員	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博
	佐藤益子	佐藤益子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子	加藤淑子
	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子
	篠崎彰大	篠崎彰大	篠崎彰大	篠崎彰大	藤井孝子	藤井孝子	藤井孝子	藤井孝子	藤井孝子	藤井孝子	藤井孝子	藤井孝子	藤井孝子	藤井孝子	藤井孝子	藤井孝子	藤井孝子
	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸
	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美	田代明美
	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆
	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子
	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔	伴田良輔
							村田仁代	村田仁代	山口定男	山口定男	山口定男	山口定男	山口定男	山口定男	山口定男	山口定男	山口定男
									寺元千佳	寺元千佳	寺元千佳	寺元千佳	寺元千佳	寺元千佳	寺元千佳	寺元千佳	寺元千佳
										鈴木淳子	鈴木淳子	鈴木淳子	鈴木淳子	鈴木淳子	鈴木淳子	鈴木淳子	鈴木淳子
											坂里祭	坂里祭	坂里祭	坂里祭	坂里祭	坂里祭	坂里祭
														廣瀬潤子	廣瀬潤子	廣瀬潤子	廣瀬潤子
														米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉
														山口由美子	山口由美子	山口由美子	山口由美子
監事	羽山哲	羽山哲	羽山哲	羽山哲	南美奈子	南美奈子	南美奈子	南美奈子	(岡美奈子)	(岡美奈子)	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子
事務局長	小森尚子	小森尚子	鳥本磨岐	鳥本磨岐	鳥本磨岐	鳥本磨岐	鳥本磨岐	山口定男	山口定男	平田多津子	平田多津子	平田多津子	平田多津子	上野正之	上野正之	岸本泰蔵	岸本泰蔵
事務局	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子
顧問	中井義勝	中井義勝	中井義勝・小森尚子	中井義勝・小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子
名誉会長	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正

乳房文化研究会

(年度)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
会長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
常任運営委員	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博
	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一	北山晴一
	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	佐藤益子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子
	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	本郷重彦	山口久美子	山口久美子	山口久美子	山口久美子	山口久美子	山口久美子
運営委員						米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉
	市邊昌史	市邊昌史	市邊昌史	市邊昌史	市邊昌史	市邊昌史	市邊昌史	市邊昌史	市邊昌史	市邊昌史	市邊昌史
	岡美奈子	岡美奈子	岡美奈子	岡美奈子	岡美奈子	岡美奈子	岡美奈子	岡美奈子	岡美奈子	岡美奈子	岡美奈子
	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博	河田光博
	実川元子	実川元子	実川元子	実川元子	濱田麻矢	濱田麻矢	濱田麻矢	濱田麻矢	濱田麻矢	濱田麻矢	濱田麻矢
	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸	島岡昌幸
	田代明美	阪口晃一	阪口晃一	阪口晃一	阪口晃一	阪口晃一	阪口晃一	阪口晃一	阪口晃一	菅森朝子	菅森朝子
	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	都倉隆	赤澤礼子	赤澤礼子
	廣瀬潤子	廣瀬潤子	廣瀬潤子	廣瀬潤子	廣瀬潤子	廣瀬潤子	廣瀬潤子	廣瀬潤子	廣瀬潤子	廣瀬潤子	廣瀬潤子
	山口久美子	山口久美子	山口久美子	山口久美子	山口久美子	素輪善弘	素輪善弘	素輪善弘	素輪善弘	上田修三	上田修三
	山口定男	山口定男	山口定男	山口定男	山口定男	米本昌史	米本昌史	米本昌史	米本昌史	米本昌史	米本昌史
	山口由美子	山口由美子	山口由美子	山口由美子	山口由美子	山口由美子	山口由美子	山口由美子	山口由美子	山口由美子	山口由美子
	米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉	米澤泉
		川添裕子	川添裕子	川添裕子	川添裕子	川添裕子	川添裕子	川添裕子	川添裕子	川添裕子	川添裕子
	杉野菜穂子	杉野菜穂子	杉野菜穂子	杉野菜穂子	杉野菜穂子	赤野美紀	赤野美紀	赤野美紀	赤野美紀	赤野美紀	赤野美紀
	鳥屋尾優子	鳥屋尾優子	鳥屋尾優子	鳥屋尾優子	鳥屋尾優子	鳥屋尾優子	鳥屋尾優子	鳥屋尾優子	鳥屋尾優子	岸本泰蔵	岸本泰蔵
監事	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	日置智津子	市邊昌史	市邊昌史
事務局長	岸本泰蔵	岸本泰蔵	岸本泰蔵	岸本泰蔵	岸本泰蔵	岸本泰蔵	岸本泰蔵	岸本泰蔵	岸本泰蔵	米澤泉(兼)	米澤泉(兼)
事務局	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子	平田由美子
顧問	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子・本郷重彦	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子	小森尚子
名誉会長	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	星野一正	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一	田代眞一